



No.118
2023.8.30

SFA NEWS



- ① … 三菱重工浦和レッズレディース、WEリーグ初制覇！
「なでしこジャパン」、惜しくもベスト8に終わる～FIFA 女子ワールドカップ オーストラリア&ニュージーランド 2023
- ② … 埼玉、残念～特別国民体育大会サッカー競技関東ブロック大会
- ④ … 「つながる」。SFA女子委員会改革元年～渡辺典子委員長に聞く
- ⑥ … リスベクト企画第2弾～「技術と審判の協調に向けて」
- ⑨ … 大会記録●県内大会 1種・2種・4種
- ⑩ … 大会記録●県内大会 4種
- ⑪ … 大会記録●県内大会 女子 ●県外大会 1種・社会人・大学・2種高体連
- ⑫ … 大会記録●県外大会 2種高体連・女子高体連・シニア 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

三菱重工浦和レッズレディース、WE リーグ初制覇！

「2022-23 Yogibo WE リーグ」において、三菱重工浦和レッズレディースが優勝しました。2年目のWE リーグ、本当におめでとうございます。しっかりと個々の力を発揮し、結果を出してくれました。さらに11月にアジアNo.1の女子クラブを決定するAFC 女子チャンピオンズリーグ 2024 のプレ大会として開催される「AFC Women's Club Championship 2023 - Invitational Tournament」への出場も決まりました。ぜひアジアの頂点を目指してください。

また、2022-23 WE リーグ最優秀選手賞には安藤梢選手が選出されました。こちらもおめでとうございます。

2022-23 WE リーグ最優秀選手賞

DF 安藤 梢選手（三菱重工浦和レッズレディース） 初受賞

2022-23 WE リーグ ベストイレブン

DF 安藤 梢（三菱重工浦和レッズレディース） 2年連続 2回目

DF 石川 璃音（三菱重工浦和レッズレディース） 初受賞

MF 柴田 華絵（三菱重工浦和レッズレディース） 2年連続 2回目

MF 清家 貴子（三菱重工浦和レッズレディース） 2年連続 2回目

MF 猶本 光（三菱重工浦和レッズレディース） 初受賞

フェアプレー賞

三菱重工浦和レッズレディース 2年連続 2回目

優秀監督賞

楠瀬 直木（三菱重工浦和レッズレディース） 初受賞

さて、8月26日からは「2023-24 WE リーグカップ」グループステージも始まり、新シーズンが開幕します。こちらも連覇を期待しています。



優勝 三菱重工浦和レッズレディース

「なでしこジャパン」、惜しくもベスト8に終わる ～ FIFA 女子ワールドカップ オーストラリア & ニュージーランド 2023

池田太監督（武南高校卒、元浦和レッズ）が率いる「なでしこジャパン」が「FIFA 女子ワールドカップ オーストラリア & ニュージーランド 2023」に挑みました。グループステージは無失点で抜け、ラウンド16でノルウェーに勝利しましたが、準々決勝で残念ながら敗れてしまいました。優勝したのはグループステージで勝ったスペイン代表。続くパリでのオリンピックを楽しみにしたいと思います。

大会期間：2023年7月20日（木）～2023年8月20日（日）

●グループステージ

第1戦 7月22日（土） ○ 5-0 vs ザンビア女子代表

第2戦 7月26日（水） ○ 2-0 vs コスタリカ女子代表

第3戦 7月31日（月） ○ 4-0 vs スペイン女子代表

●ノックアウトステージ

ラウンド16 8月5日（土） ○ 3-1 vs ノルウェー女子代表

準々決勝 8月11日（金） ● 1-2 vs スウェーデン女子代表

【埼玉県関係選手】

MF 猶本 光 （三菱重工浦和レッズレディース／小郡東野少年サッカークラブ～FC Lieto～アンクラスFC Paso Dorad～福岡J・アンクラス～浦和レッズレディース～SCフライブルク）

MF 清家貴子 （三菱重工浦和レッズレディース／クリストロア SC～浦和レッズレディースジュニアユース～浦和レッズレディースユース）

DF 高橋はな （三菱重工浦和レッズレディース／戸塚フットボールクラブ・ガールズ～戸木南ボンパーズFC～FCアビスタ～浦和レッズレディースジュニアユース～浦和レッズレディースユース）

DF 石川璃音 （三菱重工浦和レッズレディース／スポルティフ秋田～御所野スポーツ少年団～JFAアカデミー福島）

DF 熊谷紗希 （ASローマ／真駒内南サッカースポーツ少年団～クラブフィールズ・リンダ～常盤木学園高等学校～浦和レッズレディース～1.FFCフランクフルト～リオン～バイエルン・ミュンヘン）

DF 南 萌華 （ASローマ／吉川ホワイトシャークサッカースポーツ少年団～浦和レッズレディースジュニアユース～浦和レッズレディースユース～浦和レッズレディース～三菱重工浦和レッズレディース）

MF 長谷川唯 （マンチェスターシティ／戸田南FCスポーツ少年団～戸木南ボンパーズ～日テレ・メニーナ～日テレ・ベレーザ／日テレ・東京ヴェルディベレーザ～ACミラン～ウェストハム・ユナイテッド）

MF 長野風花 （リヴァプールFC／FCパルティレ・江戸川レディース～浦和レッズレディースジュニアユース～浦和レッズレディースユース～浦和レッズレディース～仁川現代製鉄～ちふれASエルフェン埼玉～マイナビ仙台レディース～ノースカロライナ・カレッジ）

埼玉、残念 ～特別国民体育大会サッカー競技関東ブロック大会

8月14日から20日まで「特別国民体育大会サッカー競技関東ブロック大会」が埼玉県内で開催されました。残念ですが、成年男子・少年男子・少年女子の3カテゴリーすべて、鹿児島で開催される本大会出場を逃しました。選手、スタッフ、関係者の皆さん、お疲れさまでした。

埼玉県開催ということもあり、多くの県民の皆さんにご声援をい

ただきましたこと、誠に感謝申し上げます。技術委員会を中心にこの結果を糧にしていきたいと思います。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

※なお、成年男子と成年女子が隔年開催されることになり、来年は成年女子と、少年男子・少年女子の3カテゴリーが開催されます。

■成年男子

8月30日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

【代表決定戦】 埼玉県 0-2 群馬県



代表決定戦 埼玉県 vs 群馬県

■少年男子

8月14日

【代表決定戦】 埼玉県 0-0 群馬県 (2PK4)



代表決定戦 埼玉県 vs 群馬県

■少年女子

8月19日

【1回戦】 埼玉県 7-0 栃木県

【代表決定戦】 埼玉県 0-0 千葉県
(3PK5)



1回戦 埼玉県 vs 栃木県



代表決定戦 埼玉県 vs 千葉県

特別国民体育大会 関東ブロック大会 埼玉県代表チーム名簿

■成年男子

役職	氏名	所属
監督	中村 祐也	アヴェントゥーラ川口
選手兼コーチ	福田 俊介	アヴェントゥーラ川口
コーチ	長岡 修	アヴェントゥーラ川口
GKコーチ	長谷川 凌	アヴェントゥーラ川口
主務	安藤 弘勝	アヴェントゥーラ川口
トレーナー	山村 茉桜	アヴェントゥーラ川口
サポート	大野 慶彦	アヴェントゥーラ川口
サポート	土釜 走太	アヴェントゥーラ川口

No.	位置	氏名	所属
1	GK	横井 健太	アヴェントゥーラ川口
2	DF	小羽根公貴	アヴェントゥーラ川口
4	DF	大久保龍成	アヴェントゥーラ川口
5	DF	片倉 誠也	アヴェントゥーラ川口
6	MF	茂木 祐樹	アヴェントゥーラ川口
7	DF	高瀬 優孝	アヴェントゥーラ川口
8	MF	吉田 翔太	アヴェントゥーラ川口
9	MF	横山優太郎	アヴェントゥーラ川口
10	FW	小林 秀征	アヴェントゥーラ川口
11	MF	桜井 潤人	アヴェントゥーラ川口
13	DF	福田 俊介	アヴェントゥーラ川口
14	DF	中村 祐也	アヴェントゥーラ川口
17	MF	須崎 光将	アヴェントゥーラ川口
18	MF	鈴木 颯太	アヴェントゥーラ川口
19	MF	平島 大輔	アヴェントゥーラ川口
21	GK	本山 航大	アヴェントゥーラ川口

■少年男子

役職	氏名	所属
監督	大野 恭平	さいたま市立浦和高校
コーチ	野崎 桂太	大宮アルディージャ
コーチ	川北 康博	県立越谷西高校
コーチ	須貝 涼	鴻巣市立鴻巣西中学校
GKコーチ	三上 綾太	所沢 Jrユース
トレーナー	加藤 一夫	西大宮病院

No.	位置	氏名	所属
1	GK	佐々木智太郎	昌平高校
2	DF	千田 聖奈	大宮アルディージャ U18
3	DF	藤原 朝日	大宮アルディージャ U18
4	DF	東方田純永	浦和レッズユース
5	DF	萩原央太郎	大宮アルディージャ U18
6	MF	田中 翼牙	大宮アルディージャ U18
7	MF	大橋 慧斗	三菱養和 SC ユース
8	MF	薄井 翼	浦和レッズユース
9	FW	山根 旦稔	浦和レッズユース
11	MF	大関 駿	大宮アルディージャ U18
12	GK	野口 依吹	大宮アルディージャ U18
13	FW	野口 蒼流	大宮アルディージャ U18
14	MF	森岡 玲央	立教新座高校
15	MF	山口 豪太	昌平高校
16	MF	長 璃喜	昌平高校
18	DF	安藤 愛斗	昌平高校

■少年女子

役職	氏名	所属
監督	葉袋 広明	クーパー・コーチング・サッカースクール新座校
コーチ	高峯祐一郎	県立飯能高校
コーチ	福島 巖	県立春日部高校定時制
GKコーチ	小川 圭輔	大宮アルディージャ VENTUS
主務	山口 真奈	県立浦和工業高校
トレーナー	圓山 和也	入間テクニカル鍼灸整骨院

No.	位置	氏名	所属
1	GK	寺本 唯香	大宮アルディージャ VENTUS U18
2	DF	加世田唯愛	大宮アルディージャ VENTUS U18
3	DF	高橋 莉央	ちふれ AS エルフェン埼玉マリ U18
4	DF	松家 ゆり	三菱重工浦和レッズレディースユース
5	MF	渡辺 夕那	大宮アルディージャ VENTUS U18
6	DF	長谷川和花	大宮アルディージャ VENTUS U18
7	MF	前田 夏海	ちふれ AS エルフェン埼玉マリ U18
8	DF	青田 望々	三菱重工浦和レッズレディースユース
9	MF	熊田 姫依	三菱重工浦和レッズレディースユース
10	FW	辻 あみる	三菱重工浦和レッズレディースユース
11	FW	茂木 未宙	大宮アルディージャ VENTUS U18
12	MF	高橋 佑奈	三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース
13	FW	飯田かれん	大宮アルディージャ VENTUS U18
15	MF	甲斐さくら	大宮アルディージャ VENTUS U18
16	GK	加納由佳子	三菱重工浦和レッズレディースユース

「つながる」。SFA 女子委員会改革元年

～渡辺典子委員長に聞く

今、埼玉県として、女子サッカーへの取り組みが問われています。WE リーグに3クラブ参加し、その機運醸成が求められ、期待されているのです。現状、そしてこれからを、渡辺委員長に伺いました。(聞き手・構成／荒川裕治 広報・技術・女子委員)

—今年から本格的に女子委員会に入れていただきました。あらためて、女子委員会がここまで何をしてきたのかを、まず振り返っていただけますか。

渡辺 女子委員長を拝命してから、しばらく時間が経っていますが、県女子連盟の理事長としての仕事……大会の開催・運営に追われてきたというのが正直なところ。もともと埼玉には県女子連盟がある中で、SFA として女子委員会が存在しているのですが、その違いがはっきりとわからないまま、ここまで来てしまったというのが状況です。

—ということで、ここは割り切って言わせていただきますが、この部分が渡辺さんからときどき「(委員会として)何をしたらいいかわからないのよね」と聞かされていた「そもそも」なんですよね。

渡辺 そうなんです。大会の運営以外に何をどうすればいいのかわからない。県女子連盟は各カテゴリーの部会の集まりで、その多くの大会は部会で運営していただいています。ですから、女子委員会といっても、ここ数年はフェスティバルを開催していただけたんです。それに他県は「女子委員会」もしくは「女子部会」で一本化されているので「なぜ埼玉は？」という疑問もあったんです。

—他県が一本化されていると、余計にあれこれと考えてしまったんです。そこで、改めて県女子連盟と女子委員会の求められている役割を整理させてもらいました。

SFA が財団法人になる際、すでに各種連盟が存在する中、どのように SFA と各種連盟がつながるのがいいのかという議論になりました。まずは組み込むことはできないということから、横山(謙三氏)さんの発案で、SFA 内に種別委員会を立ち上げて、その委員会を通じて連盟とつながっていくという話になりました。

例えば、1 種は社会人連盟と大学連盟、さらに自治体連盟があるので、これらを一本化する部署という位置づけです。「1 種」としての大会(彩の国カップ/天皇杯県予選)もあるものですから、そういうものを統括してほしいと細則に書いてあるのです。ただ、明記されていませんが、その種別をどうしていきたいのかを検討してほしいという思いもありました。その説明が不十分だったのかもしれない。

ですから女子の場合、県女子連盟として大会を運営していただいていることを踏まえると、女子委員会は「これからの女子サッカーをどうすればいいのか」を検討していただきたかったんです。そのために、エイブラハム・リンカーンの有名な言葉を用いて「女性の、女性による女性のための女子サッカー」をと、女性中心で委員会を構成していただくようお願いしたのですが、なかなか伝わらなかったということですね。簡単に言えば、県女子連盟は手足で、女子委員会は Brain【頭脳】という役割分担をしていただければと思っていたのです。

これは他の種別委員会でも同様です。

渡辺 ということを荒川さんから改めて聞いて、なるほどと思ったんです。

—経緯はご存じなのでしょうが、なかなか着手できないのだという認識でしたが、そうではなかったわけですね。

こちらとしては、坂庭さん(泉氏。前専務理事)から WE クラブが3つあるという中で SFA として何かできないかと相談されてきたこと、柏さんが専務理事に就任した際に「女子サッカー」を重点施策としたこともありまして、ここに来て私も少しずつお手伝いさせていただくことにした次第です。

渡辺 県女子連盟と女子委員会の役割は整理できましたが、とにかく

人がいないという現実がありました。各チームの皆さんは県女子連盟に対しては協力していただきありがとうございます。女子委員会までは手が回らないというのが実情でした。

—端的に言えば、「人がいない」という問題に直面しているというお話でした。昨年の「JFA ガールズサッカーフェスティバル」(11/3)は、4 種委員長の大山さん(武士氏)の発案で4 種委員会から全面的に協力していただいたのは印象的でした。今年も協力していただけるとのことでしたが、女子委員会としてテコ入れをしなければならない懸案事項ですね。

これを含めて、喫緊の課題として最初に取り組んだのが「埼玉県女子サッカー発展に関する勉強会」の開催でした(2022 年 9 月 23 日、2023 年 1 月 20 日の2回)。これは WE リーグ3クラブにお声がけをして、現状の課題を伺いましたね。

渡辺 どのクラブもなかなか試合に足を運んでいただけないという課題を抱えていらっしゃいました。聞けば、WE リーグそのものを知らない方が思っている以上に多いとのことでした。結局は、女子サッカーの裾野をどう広げるかが課題として残りましたね。

—要は普及ということですね。これは WE クラブではなく、SFA として取り組まなければならない課題です。

渡辺 先日も web で全国の女子委員長と会議を行いました。どこも悩んでいます。フェスティバルの案内のチラシを配ったが効果がない、組織としてのマンパワーがない、なかなかレディースチームが登録してくれない……。

ただ思ったのは、勇気を持って普及活動に取り組み、たとえ少ない人数しか集まらなくても継続していくことが大事であり、集まれる「場」をいくつか作っていかねばならないと思いました。

そういうことも含めて、埼玉であれば埼玉の女子サッカーがどうなっているのかを、しっかりと情報発信していかなければならないと考えています。そこで昨年 10 月に女子委員会としての広報誌の作成とホームページの立ち上げを立案しているところです。

広報誌に関しては、北海道協会が発行された「北海道のフットボールを支える女性たち」という冊子(北海道協会ホームページからダウンロード可能)に刺激を受けました。埼玉でも女子サッカーというフィールドでがんばっている方は多いのですが、なかなか横のつながりが無かったり、知られていないという現実があります。ですから人を紹介しつつ、今の埼玉の女子サッカーを知ってもらいたいと考えました。

ホームページに関しては、県女子連盟でも作成していますが、登録制度の関係上、少女(U-12)は4 種登録となり、県女子連盟のホームページで「女子」という大きな括りでは紹介することができません。それを「女子委員会」という括りの中で、埼玉でサッカーを始めた女の子が生涯、埼玉でサッカーに関わるにどうすればいいのかという「ロードマップ」を事例と共に紹介していきたいと考えています。男の子と一緒に少年団でプレーする女の子もいれば、少女チームでプレーする女の子もいます。彼女たちが中学になったときに、中学もしくはクラブチームでプレーすることになると思いますが、そういうこともイメージできるようにしたいのです。また、現状の課題



渡辺典子女子委員長

の一つとして女子の3種問題があります。中学年代で彼女たちがプレーできる受け皿が絶対的に足りません。そういう課題も問題定義しながら、県内の女子サッカー環境を改善していきたいと思っています。

——**要は、決定的に女子サッカーそのものが知られていないということですね。**

渡辺 その通りです。例えば、4種のチームでは女子プレーヤーが増えています。少子化もあるでしょうが、毎年状況は変わってきています。逆に少女のチームが少なくなってきました。そういうことを知ってもらうことが、応援していただくための第一歩だと思うのです。

中体連で女子チームはさいたま市に二校、常盤中と原山中のみです。実際、中学の部活動は地域移行が求められている状況もあり、新たにできることは難しいと考えます。また、現状を見ても、一つのグラウンドで野球部、陸上部、男子サッカー部などが併用している中、さらに女子サッカー部をとというのは難しく、さらに指導者も、と課題は多いのです。そういう課題を知ってもらいたいんですね。WEリーグの3クラブも憂慮していることでもあります。

——**高校の女子サッカー部が多いだけに、女子サッカーそのものの普及が広がると、その可能性は大きなものになると考えられますね。**

渡辺 ということで、やはり普及です。

これらをイメージして、今年度は女子委員会のメンバーを増やしました。

委員長 渡辺 典子

委員 上代 圭子（東京国際大学）

長谷川暁雄（技術・久喜高校）

松本 眞春（U-15部会・越谷 Lady's Family）

長谷川百合矢（中体連・さいたま市常盤中）

佐藤 ゆみ（審判）、美馬智子（大宮アルディージャ）

以上、従来のメンバーに加えて、2023年度より追加

委員 荒川 裕治（広報、技術）

池田 浩美（尚美学園大学）

神戸慎太郎（U-18部会・浦和レッズレディース）

木村 光善（U-15部会・FCスペアール toda）

大山 武士（4種）

藤田 雅彦（広報）

江口 洋（高体連女子部・松山女子高校）

都所 亮介（中体連・吹上北中）

各カテゴリーから多くの皆さんに入っていました。それも大山さん、都所さんは種別委員長、江口さんは高体連女子部の部長とトップの方々が名を連ねていただいたことは、「女子サッカー」に対しての期待でもあると考えています。

——**このようなメンバーに集まってくいただき、「女子委員会」がリスタートしたわけですが、ここまでのところで2回会議を行いました。手ごたえをどのように感じていらっしゃいますか。**

渡辺 1回目（4/29）では、先程の女子委員会と県女子連盟とのすみ分けの話をさせていただき、女子委員会としては普及・発展の向けての活動、いわゆるグラスルーツ推進を行っていくことを確認しました。それも普及イコール、キッズや4種ということではなく、3種年代のサッカー環境を整えることも大事ですし、2種年代になってサッカーを始める子どもたちもいます。またレディースにな

っても、サッカーを続けられるようにすることも含まれています。要は「つなぐ」という意識を持つことの重要性をお伝えしました。

そういう理解の上で、女子委員会としてのミッション・ビジョンの提案をさせていただきました。そこから、皆さんから活発な意見をいただき、まだミッション・ビジョンについては審議中ということになりました。

1回目は、皆さんそれぞれ女子サッカーに対する思いを語っていただきました。それは大きな前進とらえています。

また2回目（6/3）では、普及活動の事例紹介、提案をいただきました。4種でのキッズの活動から、さいたま市FAの「夢プロジェクト」、そして女子委員会が主催となっている「ガールズフェスティバル」など。お話を聞いていて、フレキシブルに対応していただける指導者の方がいる高校が動きやすいように思いました。4地区を回るような活動ができれば、順次3種年代にも広げることができるのではないのでしょうか。

次回は女子委員会として、より具体的な普及活動の提案ができるよう議論していきたいと思っています。

多くの皆さんに関わっていただき、一緒に女子サッカーを考えることがありがたいと思っています。

——**技術からですが、昨年から国体少年女子チームが立ち上がり、女子のトレセン活動がつながるようになりました。そこに、レッズレディース、エルフェン、アルディージャ VENTUS、そして高体連にも加わっていただく会議が長谷川さん（暁雄氏）を中心に、技術委員会主導で始まりました。先日は、来年度からまた隔年で参加することになる成年女子チームの立ち上げも含めた検討会議もありました。ここには県内の大学関係者にも集まってくいただき、少しずつながら「つながる」動きも出てきています。女子委員会との活動と上手く連携していくように、こちら「つながる」ように整えていきたいものです。**

渡辺 女子サッカーの可能性は大きいと思っています。現在、ワールドカップを戦っている「なでしこジャパン」の活躍が、また女子サッカーへの関心・興味を高めてくれることでしょう。

思うに女子サッカーとは、サッカー界が社会的接点を持つためのツールではないかと。要は気にかけてもらえる存在になりたい。そのためには私たちも変わっていかなければなりませんし、周囲の皆さんに女子サッカーを理解していただくよう努力をしていかなければならないと考えています。そう、「つながる」意識を大切にしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

——**随時、女子委員会の状況をアップデートして、理解を求めていきましょう。できる限りサポートさせていただきます。引き続きよろしく願いいたします。**



7月2日、さいたま市内にて「WEリーグ(埼玉ダービー)知事杯授与記念イベント」が盛大に開催された。

リスペクト企画第2弾 ～「技術と審判の協調に向けて」

前回、SFA としてリスペクト、さらには暴力・暴言根絶を考えようと、フェアプレー・規律委員会の取り組みを紹介しました。今回は角度を変えて考えたいと思います。もしかしたら「一人審判」の是非を問うような内容だと、とらえられるかもしれませんが、そうではありません。今回の座談会を通じて感じいただきたいことは、子どもに関わる大人の「意識」の問題です。もしかしたら、指導者の審判への「意識」が変わらなければ、指導者の子どもたちへの「意識」も変わらないのではないかなと思うのは、考えすぎでしょうか？

(司会・構成／広報委員 荒川裕治)

参加者（順不同）

●技術委員会より

田中龍太郎 技術委員長

山崎 茂雄 HOC

鳴島 吉和 男子トレセンダイレクター (U-12)

●審判委員会より

木村 滋 審判委員長

前之園晴廣 審判副委員長

今野 正朝 4 種審判委員長

——前回に続いて、リスペクト企画です。今回は10数年ぶりに「技術と審判の協調」です。注目したいのは4種です。まずは技術、審判それぞれから、4種の現状を報告していただきたいと思います。まずは鳴島さんからお願いできますか。

まだベンチから暴言が

鳴島 フェアプレー・規律委員会に挙がっている4種における暴言案件ですが、県トレセン、及び4地区のトレセンにおいてはありません。自チームでの活動の中で起こっている案件と認識しています。試合を観ていて、審判のジャッジに対する不満、自チームのプレイヤーのプレーへの不満……もともと指導者ならば誰でも持っている「サッカーが好きだ」という熱い気持ち、違う方向性に向かっている言動が見受けられます。



鳴島吉和氏

また大会そのものを見ていますと、各地区から県大会に進む代表決定戦はかなりヒートアップしています。県大会では県から審判を派遣しますが、各地区の段階ではチームの帯同審判が担当することになっています。ここでの状況を見ると、JFA が推奨している一人審判を普及させていくのは、なかなか難しいと思います。

飯能では一人審判で行う大会を15年以上前からやっています。これを続けていると、副審ができないという弊害があるのですが、ただ、一人でもしっかり観てくれていることをリスペクトしようと働きかけていますし、ジャッジについて過剰に言うことはありません。

——早速、一人審判の話題を出していただき、ありがとうございます。どのような大会なのですか？

鳴島 市内のプライベートリーグです。学期ごとに1日を使って行っています。1部から3部まであり、入れ替え戦も行っています。

——ありがとうございます。地域によっては一人審判を取り組んでいらっしゃるんですね。しかし、県大会に関わる試合では……難しいということですね。続いて、今野さん、いかがでしょうか。

今野 一人審判ですか……。県の中央大会では県からの派遣審判が4人で担当します。各地域では「お父さんコーチ」の皆さんが4級審判を取得していただいて、担当してくださっています。感謝しております。ただ、「お父さんコーチ」の中でも指導に積極的な方と、仕方なく取得された方とで、やや差が出ます。そこにクレームが出てきてしまうのが現状です。

私は長く、旧浦和地区で少年団の代表を務めています。下部の大会で「お父さんコーチ」が審判を担当すると、文句を言うてくる方もいらっしゃる。そんなときには「そちらも同じですよ」と、

同様に「お父さんコーチ」に審判をお願いしていることを理解してもらうことが多々あります。低学年だと二人審判で行っている試合もありますね。

こちらの立場としては、「子どもが卒団したら審判はやらない」では、残念ですね。卒団されてもコーチとして長く続けていただきたいですし、続けていく中で3級審判資格を取ってもらえればいいのですが。見てみると、上級審判を目指す方が担当してくださると、ベンチも静かなんですね。すべての審判に対して、リスペクトをしてほしいのですが、まだまだ完璧ではありません。

また県中央大会の話に戻しますが、私としては県中央大会での一人審判はできないと考えています。少なくともとはいえ、まだまだベンチからの暴言がありますからね。4審が注意に行くのですが……。暴言がなくなれば、一人審判はできるとは思いますが、まだまだ埼玉では、担当審判がかわいそうだと思うのです。

——今野さん、ありがとうございます。ジャッジの話に流れてしまいましたが、近年の子どもたちの技術に関しては、どのように御覧なっていますか。

今野 技術は相当上がりましたね。その分、審判もがんばっています。

鳴島 プレーヤーの技術は伸びています。また、チームのレベルも上がっています。印象的なのは、プレースピードが速いということ。先日の「関東 M-T-M」の試合を観ていても、埼玉の A チームのプレースピードは速く、審判がそのスピードについていけないんですね。

今野 一人審判制にするともっと感じられると思います。

鳴島 トップレベルもそうですが、各地区を見ていてもプレースピードは上がっています。審判が瞬間、瞬間のジャッジについて来なくなっている場面もありますね。

審判も進化しなければ

田中 4種年代で、子どもたちから審判にクレームが出ることはあるのでしょうか？

今野 ないですね。やはり指導者です。

田中 やはり大人に問題があるのでしょうか。他県では一人審判を推進しているようですが、埼玉ではまだまだ。ということは、埼玉だけが「違う大人の人たち」なのかどうなのか？

子どもたちは真剣にプレーしているのに、大人が文句を言っているだけなんですね。

今野 ただ、他県からは「(一人審判は)うまくいっています」という話を聞くこともありますが、実情は様々なようです。



田中龍太郎氏

山崎 子どもたちのプレーを観ていて、ドリブルが多くなりました。パスだけでなく、縦にも速くなっています。そこに審判がついていけるかどうかですね。審判の皆さんに、正確なジャッジをしていただくことも、プレー環境の一つ。審判も技術も、改めて「子どもたちを抱えているんだ、預かっているんだ」という認識を持ちたいものです。

JFAのナショナルトレセンコーチとして北海道を担当していたときに、一人審判で行っていた4種の試合を観たことがあります。あるチームのスタッフが失点した場面を振り返りながら、「子どもたちもオフサイドはわかりますよ」という話を聞かされました。不満というか疑問というか……。見解の相違だと思えます。

子どもたちは子どもたちなりに競争をしている中で、大人がジャッジに文句を言っている姿を見て、プラスになるのでしょうか？

埼玉の子どもたちのレベルは、県ベスト8のどのチームも全国のトップレベルだと思います。プレー環境が気になるところです。

木村 山崎さんから、県内のプレー環境をよくしたいという話が出ました。プレーヤーを応援するために、審判委員会として何ができるのでしょうか。プレーヤーが力を発揮して、高いレベルのステージに出て行ってくれることが大事だと考えており、そのために我々も研修を重ねています。



木村 滋氏

ちょうど昨日まで、蕨崎でのフェスティバルに参加してきました。U-16を対象とした大会でしたが、コーチは誰もが前向きで、審判を尊重してくれていました。球際など激しいプレーは見られましたが、ジャッジに文句はありませんでした。また、プレーヤーたちに「蹴れ」「出せ」という指示もありませんでしたね。プレーヤーたちの技術も進んでいることを実感したところです。

そこで思ったのですが、審判はプレーヤーたちの戦略理解ができているのだろうか、どうかと。先にボールに触れているのか、ひっかけているのか、など瞬間ばかりを観ているのではないのでしょうか。プレーヤーたちは一生懸命です。ですから、もっと次のプレーの予測をしたり、今、このプレーヤーが何を考えているのだろうか……そういうことを観る必要があると思うのです。サッカーという競技を考えて、審判も一緒に勉強していかなければならないのではないのでしょうか。

そうそう、プレーヤーからも文句はありませんでした。だから、徐々に「いいサッカーを観たな」と思ったほどです（笑）。もっと審判もがんばらないといけません。技術の進化に負けない研修をしていかなければなりません。

前之園 JFAのインストラクターという立場で、一昨年、昨年と「全日本U-12サッカー選手権大会」に参加しました。一昨年は、ベンチからのサイドコーチングがすごかったですね。Jアカデミーのチームでもあり、残念に思いました。それが去年は、ほぼ無かったですね。子どもたちが自分たちで考えてプレーしていましたし、声掛けもポジティブなものばかりでした。ただ、勝つためでしょうか、明らかにケガをしている選手を出場させるチームがありましたね。

私たちは、子どもたちのための施策を行う必要性があります。ですから、ベンチから文句を言われることを怖がってはいけないうと思うのです。

その中で、一人審判です。いきなりできることではありません。三人制の対角線式審判法が基本であり、その基本を守りながら争点や確認しなければならないところに寄って行ったり、身体に角度をつけて同一視してプレーを監視したりすることが一人審判には必要だと思っています。そして、一人審判を行うことで担当審判自身、見えてくるもの、気づくものがあると思うのです。そういうことが大事な

のではないのでしょうか。

やはり私たちは、子どもたちがプレーに集中できて、一人でも多くいい選手を輩出していきたいのです。だから、粘り強く指導者の皆さんに対して、発信していく必要があると思っています。審判も進化していかなければいけません。その努力を惜しまず、続けていきたいものです。

審判を育てる

山崎 審判を育てるということは、どういうイメージなのでしょう。

前之園 現在、SFAとしては高校年代のユース審判9人が参加して、「アカデミー」という形で育成しています。月に一回集まってもらい、審判について様々な角度から研修を行っています。

こういう研修の場にも来ていただき、オブザーバーとして参加してもらえるとうれしいですね。

山崎 ユース審判といえば、高校総体県大会の2回戦、浦和東と大宮南の試合で、草加東高校のプレーヤー二人が副審を担当してくれました（SFA技術委員会ホームページ・ブログを参照）。とてもよかったです。縦に速い展開に対して、彼らは動けて、走ることができていました。やはり日々トレーニングをしているプレーヤーです。希望があればぜひ、4種でも担当してほしいですね。

前之園 ありがとうございます。

田中 一人審判をしない、と決めつけるのはいかがなものでしょうか。JFAからは一人審判に関してのメリット、デメリットが提示されています。

前之園 結局は、選手のためなんですね。一人審判によるミスを懸念される声が聞こえていますが、でも三人制にしてもミスをするときはしてしまいます。

田中 20年前でしょうか。県U16トレセンでアルゼンチンへ遠征に行かせていただきました。コーディネーターがモネール（元横浜フリューゲルスDF）さんでした。向こうのチームとの練習試合で、いきなり一人審判でした。それもモネールさん（笑）。

埼玉のプレーヤーたちは、自分たちでオフサイドと判断しては止まり、タッチラインから出たと言って止まっていたましたが、アルゼンチンのチームは平気で続いているのです。カルチャーショックでしたね。日本の子どもたちは、タッチラインから出た場合は「出た」とジャッジしてもらうものと信じています。

鳴島 私は審判でアセッサーもして、技術にも関わってきました。正直、一人審判では見切れない場面があります。ただ、それでも見ようという姿勢が大事だと思うのです。そこを指導者の皆さんには、リスペクトしてほしい。トレセンでは、すでに一人審判でゲームを行っています。そろそろ、埼玉でもなんらかの形で、一人審判の導入も検討をしなければと思います。

田中 （今野さんに）すみません、板挟みですね（苦笑）。

もう一つ、ジャッジについてですが、トップトップはVARを導入して、間違いがないようにしています。しかし、4種にVARを導入するのでしょうか。「一人審判でいいんじゃないか」ということに意味があると思うのです。

前之園 クレームが出ないような施策が必要になってきますね。

——ここで、一つブレイクと言ってはなんですが、山崎FAコーチから「SFAフットボールフィロソフィー」を説明していただきたいと思います。（説明は省略）

前之園 審判も、この取り組みについては知っていないといけません。Jリーグを担当しているときも、Jリーグの取り組みを知って



山崎 茂雄氏

おくことは当然のことでした。

特に Fundamental、基本の深掘りに関しては、審判も同様です。だから、一人審判をすることが必要だと感じたところです。ぜひ、山崎さんには審判講習会に来ていただきたいものです。

木村 すごくよくできていると思います。細かいところまで作られており、自分では作れない内容ですね(苦笑)。このように方向性を示すことは大事なことです。「誰かがいつかやるだろう」と先送りをしたらどうなるのでしょうか。

現在、埼玉の U-12 は全国のトップクラスです。でも、3種や2種はどうか。さらに大学、Jリーグに WE リーグ……すべて独占しようと思うことは悪いことではなく、むしろ目指すべきです。

いろいろと考えさせられますが、僕らが思っている以上に子どもたちは順応性が高いと思います。もう一人審判を始めてもいいのではないのでしょうか。確かに一気にすべてを、というのは無理かもしれませんが、違和感を少しずつ解消していく必要性はあると思うのです。

今野 確かに一人審判に取り組んでいけないといけないと思います。が、まだまだ難しいと思います。

山崎 この「SFA フットボールフィロソフィー」で伝えたいのは、プレーヤーたちの自主性と判断力を育むことです。大人はサポートする側であり、あくまでも主体はプレーヤーたちなのです。当然ながら、「仕組み」が人を育てるのではなく、「やる気」があるかどうかではないのでしょうか。

審判と技術の協調というのは「種まき」

田中 指導者の皆さんと話をしていて、ジャッジに対する不満をよく耳にします。ただ、そういう不満を言う方たちは、審判を育成できていないんですね。ぜひ、審判を育ててほしいと思います。

というのは、先程の話ですが、4種のプレーヤーたちはレベルアップしています。そのプレーヤーたちは、審判のことをどう思っているのでしょうか。「審判なんて文句を言われるだけ」と思っていないのでしょうか。「この人たちがいてくれるから、試合ができるんだ」と理解してくれているのでしょうか。「審判にはなりたくない」と思われているのであれば、【芽】を潰しているような気がしてなりません。やはり、私たちが育てていく必要があると思うのです。

——審判が子どもたちからどのような対象として見られているのでしょうか。「あんな審判になってみたい」という声が聞こえてきたりしているのでしょうか。

鳴島 10年前ですと子どもたちの目標は「Jリーグ」でした。それが今は「世界」になっています。目標が変わってきています。審判になりたいというのは視野に入っていないせんよね。とにかく夢に向かって目指しているところだと思います。

今野 4種年代から「審判になりたい」はないですね。中学でたまたま、高校で仕方なく……。

田中 やはり「絶対やりたくない」でしょうか。

前之園 よく「審判は別物だよ」という人がいらっやいます。また「審判は裏方」という発想の方もいらっやいます。いやいや、やはり審判は育てるべきものなのです。そのために、レフェリートレセンも行っていきます。

確かに選手は選手です。しかし「必ず審判をやるように」とトレーニングの中でサイクルを作ることは必要ではないのでしょうか。トレーニングを外から見ること大事なことだと思います。

あとは、指導者の皆さんには、審判とではなく、アセッサーの方々

と話をさせていただきたいですね。お互い勉強になることがあると思うんですよ。そういう取り組み、オープンで論理的な議論ができる「埼玉らしさ」を作っていけるといいですね。

山崎 鳴島さん、例えば U-12 の地区トレセンの対抗戦などに、ユース審判を派遣してもらうのはいかがでしょうか。プレーヤーたちから見たら「お兄ちゃんたち」に審判をしてもらうことは、インパクトがありますし、一人審判を行うことでユース審判自身のスキルアップにも繋がると思うんですよ。

審判と技術の協調というのは、「種まき」ですよ。

鳴島 できるところから、ユース審判や一人審判をしていくことが大事だと思いますね。

——皆さん、頷かれておりますので、こういうところから「協調」していただければと思います。ありがとうございました。最後に一言ずついただきますでしょうか。木村さんからお願います。

木村 審判委員会として、すべての皆さんに普及活動を行うとか、研修を行うことは難しいと考えています。が、技術委員会は様々な形で取り組んでいるわけですね。審判委員会としても情報の共有は必須だと考えていますし、審判一人ひとりのレベル向上に向けて、さらなる取り組みをしていかなければならないと考えています。

埼玉県のパレーヤーたちがすべてのカテゴリーで活躍してくれるよう、少しずつですが進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

前之園 ありがとうございました。皆さんの夢でもある日本のワールドカップ優勝——女子はもう果たしていますが、男子では優勝はもちろん、そのメンバーを埼玉から輩出したいものです。まずは裾野を広げていく必要があると思います。そして一人でも多くの選手が「埼玉らしさ」を身につけて、飛び出してほしいですね。

今野 ありがとうございました。今後、一人審判に関して4種でも取り組んでいきたいと思いますが、一方で一人審判制を導入したものの、3人及び4人審判制に戻している県もあるようです。鳴島さんにも協力いただき、進めてまいります。よろしくお願いします。

ぜひ一度、4種の大会、試合にも足を運んでいただければ幸いです。

鳴島 子どもたちを育てるというのは、技術だけでなく、審判だけでなく、双方の仕事ですね。今後ともよろしくお願いします。

田中 今回、4種の現状をお聞きすることができましたし、また審判の状況をお聞きすることができてよかったです。日頃から、ウチの教頭でもある前之園さんから、あれこれとお話は聞かせていただいているが(一同、笑)、技術と審判、お互い思っていることはいろいろあるということですね。

そこで思ったことは、子どもたちのために、我々大人が変わらないといけないということです。常々、山崎さんからは「主役は子ども」と聞かされています。確かにそうなんです。大人の都合ではなく、子どもたちのために何をしなければならないのかを、審判と技術でもっと協力して取り組まなければいけませんね。ありがとうございました。

山崎 いろいろと話をすることができてよかったと思います。改めて、皆さんが子どもたちを育てる仲間なのだと認識できました。

試合の中では理不尽なことはあるものです。しかし、その中でチームレス、連続性を持って戦えるようになってほしいのです。もっと子どもたちはできると思います。よろしくお願いします。

——ありがとうございました。大きなテーマは定めていましたが、こちらからの無茶振りの中、皆さんが意図を組んで発言していただい



今野正朝氏



前之園晴廣氏

たことで、話が盛り上がったと思います。

個人的にですが、指導者の皆さんが、審判に対してもっとリスペクトができれば、子どもたちへの暴言は無くなると思っています。簡単に自分の感情を表に出すことが、子どもたちに対していいことなのか？ 人として「いいお手本」になっているのかどうか？ 子どもたちは大人たちの言動を観ているんです。そういうことを意識していただければ、もっといいサッカー環境ができるのではないかと思います。一人審判、ユース審判、共に最初の一步は大変かもしれませんが、「指導者養成」をしている技術委員会の協力は不可欠です。ぜひ、第2弾をやりましょう。お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございました。



大会記録 ● 県内大会

1 種

第30回全国クラブチームサッカー選手権大会埼玉県大会

5月14日～7月9日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他

FC O'timo	1	2	川里FC	2	0
Alma quente	0	2	FC Gois	0	4
武南FC	0	1	浦和西クラブ	0	2
Area	0	1	FC Bicho	0	2
オリエンズFC	1	3	FCブエンテット	1	0
下忍クラブ	4	1	CSG	0	2
デールさいたま	0	2	H.G.C1990	1	4
深谷クラブ	3	2	宮原クラブ2011	1	0

※ FC ブエンテットは初優勝。関東大会に出場する

2 種

令和5年度 学校総合体育大会 兼 全国高校総体サッカー大会 埼玉県予選

6月3日～18日 NACK5 スタジアム大宮他

昌平	4	6	武南	4	1
本庄第一	1	2	市立浦和	1	5
狭山ヶ丘	2	2	国際学院	1	6
細田学園	0	2	川越東	1	5
大宮南	0	2	花咲徳栄	0	4
浦和南	1	3	正智深谷	1	1
朝霞西	1	2	川口市立	0	0
埼玉平成	3	0	西武台	0	4

※優勝は武南高校(10年ぶり16度目)。武南高校は全国高校総体(北海道)に出場。



決勝 武南 vs 浦和南



優勝 武南高校

4 種

第47回 関東U-12サッカー大会埼玉県大会

6月18日、25日 埼玉スタジアム第3グラウンド他

大宮アルディージャU12	3	1	杉戸ゼウシスFC	1	3
上尾朝日フットボールクラブスポーツ少年団	0	0	プレジールスポーツクラブ	2	3
浦和レッドダイヤモンズジュニア	4	0	江南南サッカー少年団	0	3
ペラーダジュニアーズ	1	1	1FC川越水上公園	2	3
エクセレントフィートFC	5	6	大宮西カリカフットボールクラブ	2	3
レジスタFC	6	7	AzuLente KAZO U-12	3	3
FCリアル	2	1	さいたまシーノースフットボールクラブ	0	3
FCチベッタ深谷	1	0	レアル狭山FC	3	3

※レジスタFC、1FC川越水上公園、大宮アルディージャU12は第47回関東U-12大会に出場。



決勝 レジスタFC vs 1FC川越水上公園



3 位決定戦 大宮アルディージャ U12 vs レアル狭山 FC



優勝 レジスタFC



準優勝 1FC川越水上公園



3位 大宮アルディージャU12

第21回埼玉県U-12ガールズカップ 決勝トーナメント
(旧称：埼玉県少女サッカーフェスティバル)

7月23日 SFA フットボールセンター2023

熊谷リリーズ☆少女サッカークラブ

寄居女子SC	0	2	0	0
狭山女子SC	2	2	0	0
宮原サッカーガールズ	1	1	1	0
戸塚FCガールズU12	2	2	0	0
吉川キッカーズ	0	3	1	0
FCスペアール toda	3	0	1	0
東大宮エンジェルス	2			

※優勝した熊谷リリースと準優勝の戸塚FC ガールズは、埼玉県代表として来年1月に開催される「JFA U-12 ガールズゲーム」に出場。



決勝 熊谷リリース☆少女サッカークラブ vs 戸塚FCガールズ U12



3位決定戦 狭山女子FC vs FCスペラールtoda



優勝 熊谷リリース☆少女サッカークラブ



準優勝 戸塚FCガールズ U12



3位 狭山女子FC

女子

2023年度 第45回皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会埼玉県予選

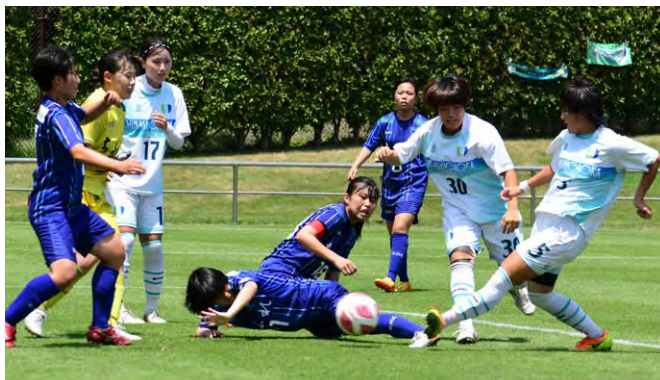
6月24日～7月23日 埼玉スタジアム第2グラウンド他

1回戦	昌平高校	3-0	FC Angels
	松山女子高校	2-4	ちふれASエルフェン埼玉マリU-18
	大東文化大学	1-1 (5PK3)	尚美学園大学
準決勝	武蔵丘短期大学シエンシア	6-0	昌平高校
	ちふれASエルフェン埼玉マリU-18	2-2 (5PK3)	大東文化大学
決勝	武蔵丘短期大学シエンシア	5-0	ちふれASエルフェン埼玉マリU-18

※優勝した武蔵丘短期大学シエンシアは埼玉県代表として皇后杯関東地区予選に出場。



優勝 武蔵丘短期大学シエンシア



決勝 武蔵丘短期大学シエンシア vs ちふれASエルフェン埼玉マリ U-18

大会記録 ● 県外大会

1種

天皇杯 JFA 第103回全日本サッカー選手権大会

6月7日			
2回戦	浦和レッズ	1-0	関西大学
	ジェフ千葉	0-1	大宮アルディージャ
7月12日			
3回戦	浦和レッズ	1-0	モンテディオ山形
	セレッソ大阪	3-1	大宮アルディージャ
8月2日			
ラウンド16	名古屋グランパス	3-0	浦和レッズ

社会人

第59回 全国社会人サッカー選手権大会関東予選会

6月4日～18日 関東各地

●Dグループ

1回戦	Tokyo International University	8-1	CERVEZA FC東京
準決勝	VONDS市原FC	0-0 (4PK2)	Tokyo International University
	アヴェントゥーラ川口	0-3	エスパランサSC

●Eグループ

1回戦	荻崎アストロス	1-0	与野蹴魂会
準決勝	ヴェルフェ矢板	0-2	東京国際大学FC
決勝	ジョイフル本田つくばFC	3-1	東京国際大学FC

●Gグループ

1回戦	さいたまSC	2-2 (延長0-1)	栃木シティU-25
-----	--------	-------------	-----------

※埼玉県勢は、本大会への出場はならず

大学

「アミノバイタル®」カップ2023 第12回関東大学サッカートーナメント大会

6月16日～7月2日 味の素フィールド西が丘他

1回戦	明海大学	4-0	駿河台大学
	学習院大学	1-0	共栄大学
	埼玉工業大学	1-4	平成国際大学
2回戦	城西大学	2-0	横浜国立大学
	平成国際大学	4-3	東京農業大学
3回戦	城西大学	2-1	明治大学
	大東文化大学	1-3	東京国際大学
	流通経済大学	1-1 (4PK5)	平成国際大学
4回戦	平成国際大学	0-4	立正大学
	国士舘大学	2-1	城西大学
	東海大学	0-1	東京国際大学
準々決勝	国士舘大学	1-0	東京国際大学
順位決定戦1日目	東京国際大学	1-2	法政大学
7位決定戦	筑波大学	2-1	東京国際大学

※優勝は国士舘大学

2種・高体連

第66回 関東高等学校サッカー大会

5月27日～29日 都内各地

●Aグループ

1回戦	霞ヶ浦	0-1	武南
2回戦	武南	2-4	八千代

●Bグループ

1回戦	埼玉平成	2-1	帝京第三
2回戦	日大藤沢	2-0	埼玉平成

※優勝は修徳高校



Aグループ 武南高校



A グループ 1回戦 武南 vs 霞ヶ浦



A グループ 2回戦 武南 vs 八千代



B グループ 1回戦 埼玉平成 vs 帝京第三



B グループ 2回戦 埼玉平成 vs 日大藤沢

女子・高体連

第12回 関東高等学校女子サッカー大会

5月27日～29日 都内各地

1回戦 前橋育英 4-3 花咲徳栄

※優勝は日本航空高校



花咲徳栄高校



1回戦 花咲徳栄 vs 前橋育英

シニア

2023年度JFA 第11回全日本O-40サッカー大会関東地区予選会

6月17日、18日 コーエィ前橋フットボールセンター

●グループB

FC.西武台 1-0 FCトキガネ(千葉県)

エリース東京シニア40 1-0 FC.西武台

FC.西武台 2-0 北群馬サッカークラブ

甲府東シニア 0-0 FC.西武台

※FC.西武台はグループ3位。グループBからはエリース東京シニア40とFCトキガネが本大会に出場する

JFA 第22回全日本O-50サッカー大会

6月24日～26日 藤枝総合運動公園サッカー場他

●グループC

クマガヤSCシニアO-50 1-0 福岡とびうめシニアサッカークラブ

盛岡FCマスターズ 0-1 クマガヤSCシニアO-50

羅針盤倶楽部NAGOYA 2-0 クマガヤSCシニアO-50

※クマガヤSCシニアO-50はグループ2位。優勝は山梨マスターズ



クマガヤSCシニアO-50

編集後記

巻頭でお伝えした通り、浦和がWEリーグ優勝を果たし、FIFA女子W杯で日本代表が準々決勝に進出。女子サッカーの盛り上がりを感じる夏になりました。でも「期待」だけでは何も変わりません。今こそ、女子サッカーの普及・育成・強化を進めるときです。SFAも検討を進めていますので、ご理解とご協力をお願いします。(藤田)